

タデ型。反足細胞は 2~3 細胞からなり、各細胞は多核になり、授精後胚が球形に発達するまで残っている。胚乳形成は細胞型。胚形成はコンギク型である。これらは今迄に報告されたサワギク連のものと同じである。ただサワギク連のほとんどは薬が 4 室であるが、これは 2 室であり、サンシチソウ属のものに一致する。

□James A. Saunders, Lynn Kosak-Channing & Eric E. Conn (ed.): **Phytochemical effects of environmental compounds** (Recent advances in phytochemistry Vol. 21) 269 pp. 1987. Plenum Press, New York. 本書は 1986 年 7 月 13 日~17 日米国メリーランド州 College Park で催された第 26 回北米植物学会の講演をまとめたもので、環境物質が如何に植物の生理に影響するかを種々な角度から検討した研究を紹介している。すなわち、1) SO_2 と葉緑体の代謝、2) 植物細胞膜へのオゾンの攻撃の生化学、3) オゾンと SO_2 の植物の生長と植物体中の炭素の配分に対する影響、4) Water Hyacinth によるフェノール性化合物の取り込みと代謝、5) 植物プランクトンによる微量元素毒性の調節、6) 植物および細菌チトクローム P-450 と除草剤の代謝、7) 大気中の PCB の作物への蓄積、8) 酸性雨雪と地上植物、9) 重金属の生物学的利用率、などの各章に分けて記述されている。これらの内容は基礎的な植物学にも、また農学、環境衛生にも深く係わり合いを持ち、人間生活に重要な諸問題を提供している。

(柴田承二)

□Buck, W. B. (ed.): **Bryostephane Steereana** 778 pp. 1987. Mem. New York Bot. Garden, vol. 45. \$138.40. 元 New York 植物園長でコケ類の研究者として有名な Dr. W. C. Steere の 80 歳のお祝いとして出版された論文集である。目を引くのは、表紙に大きく印刷された Dr. Steere のフィールド・スタイルの笑顔写真と、この部厚な論文集のタイトルである。Bryostephane というのはギリシア語で“コケの冠”という意味である。この論文集には共著を含め 84 名の著者による 68 論文が収められていて、すべてが蘚苔類に関するオリジナル論文である。論文の内容によって、歴史 (4 編)、形態・細胞 (8 編)、生理・生態 (4 編)、フローラ: 北アメリカ (6 編)、古植物 (2 編)、フローラ: 热帶アメリカ (9 編)、地理 (3 編)、フローラ: オーストララシア・オセアニア・南極 (24 編)、モノグラフ (8 編) と分けられている。上記のように幅広い分野の論文が集まっているが、やはり分類学的取扱いのものが多く、蘚苔にわたり、Dr. Steere に献名された新種 (6 種)、新属 (3 属) もある。巻頭を飾る Dr. Steere 夫人の “A letter from Dorothy” は異色で、Dr. Steere との 60 年間の生活をふりかえったエッセーで、興味深いものである。

(井上 浩)